

事業者向け 放課後等デイサービス自己評価表

つなぐ利府

		チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	改善目標、工夫している点など
環境・ 体制整備	①	利用定員が指導訓練室等スペースとの関係は適切であるか	2	9	2	・定員は適切だが、利用者の成長とともにバギーも大きくなるため、利用人数や職員数によっては狭さを感じる。食事提供や活動により部屋を分けるなどで対応している。
	②	職員の配置数は適切であるか	11	2		・適切
	③	事業所の設備等について、バリアフリー化の配慮が適切になされているか	9	3	1	・バリアフリーにはなっているが、トイレの狭さ、洗面台の高さなど改善が必要なところもある。構造上やむを得ない面もあるが改善を検討していく。
業務改善	④	業務改善を進めるためのPDCAサイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画しているか	10	3		
	⑤	保護者等向け評価表を活用する等によりアンケート調査を実施して保護者等の意向等を把握し、業務改善に繋げているか	8	5		・毎年書類をいただいて把握と改善に繋げているが、調査が職員全体に浸透していないため共有を図っていく。
	⑥	この自己評価の結果を、事業所の会報やホームページ等で公開しているか	9	3	1	・ホームページに掲載しているが、分からない職員もいるためミーティング等により周知する。
	⑦	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか	4	4	5	・外部評価は行ってないが、分からない職員もいるためミーティング等により周知する。
	⑧	職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保しているか	7	6		・部内勉強会を行っている。外部研修にはほとんど参加できていないため、開催等の情報を収集する。
適切な 支援の 提供	⑨	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか	12	1		・毎日のミーティングで情報を共有し、スタッフ個々の意見を吸い上げている。
	⑩	子どもの適応行動の状況を図るために、標準化されたアセスメントツールを使用しているか	9	2	2	
	⑪	活動プログラムの立案をチームで行っているか	10	2	1	・担当者一人で考え実行することが多かった。来年度は月毎のプログラムとしチーム体制で行う。
	⑫	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか	11	2		・季節や時期に合った活動となるよう工夫している。活動内容が高度になることもあった。
	⑬	平日、休日、長期休暇に応じて課題を決め、細やかに設定して支援しているか	9	4		・お子さまの特徴に合った課題となるよう設定しているが、実行が難しい事もあるため改善していく。
	⑭	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成しているか	12	1		・お子さまの体調面に配慮した計画としている。活動が難しい場合でも色々なパターンを提示することで取り組める可能性は出てくる。
	⑮	支援開始前には職員間で必ず打ち合わせをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認しているか	12	1		・支援前に打ち合わせを行っているが、不十分な事もあるため時間と理解度を確認しながら行っていく。
	⑯	支援終了後には、職員間で必ず打ち合わせをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか	11	2		・打ち合わせは行っている。参加できない職員には共有ノートで共有している。全職員がノートを確認し、記入方法等改善していく。
	⑰	日々の支援に関して正しく記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか	12	1		・記載内容にばらつきがあるため、勉強会等によりレベルアップを図っていく。

	⑱	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断しているか	13			
	⑲	ガイドラインの総則の基本活動を複数組み合わせ合わせて支援を行っているか	7	5	1	
関係機関や保護者との連携	⑳	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議に、その子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画しているか	13			・状況により看護師や児発管等必要な職員が参加している。
	㉑	学校との情報共有(年間計画・行事予定等の交換、子どもの下校時刻の確認等)、連絡調整(送迎時の対応、トラブル発生時の連絡)を適切に行っているか	11	2		・電話やメールなどにより調整を図っている。今後ツールを検討していく。
	㉒	医療的ケアが必要な子どもを受け入れる場合は、子どもの主治医等と連絡体制を整えているか	9	3	1	・保護者様を介した体制としている。
	㉓	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか	8	3	2	・必要に応じ会議を開催している。
	㉔	学校を卒業し、放課後等デイサービスから障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか	11	1	1	・相談支援事業所を通じ情報提供を行っている。
	㉕	児童発達支援センターや発達障害者支援センターの専門機関と連携し、助言や研修を受けているか	3	8	12	・今まで各センターとの関りが無かったため、今後の連携を検討していく。
	㉖	放課後児童クラブや児童館との交流や、障害のない子どもと活動する機会があるか		3	10	・コロナ禍のため交流はできないが、今後交流していきたい。
	㉗	(地域自立支援)協議会等へ積極的に参加しているか		6	7	・参加できていない。町の子育てボランティアに参加中。教育委員会と繋がれるようにしていきたい
	㉘	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか	12	1		・共有は図っているが、まだ共通理解が足りないと感じることもあるため、伝え方等工夫していく。
	㉙	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対してペアレント・トレーニング等の支援を行っているか	1	9	4	・まず保護者様との信頼関係の構築を重点に対応していく。
保護者への説明責任等	㉚	運営規定、支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか	12	1		
	㉛	保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っているか	11	2		・保護者様との信頼関係の構築を重点に対応していく。
	㉜	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士連携を支援しているか		4	9	・コロナ禍のため開催はできなかったが、別の方法がないか検討していく。

	③③	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか	12	1		・体制は整備している。
	③④	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか	12		1	・お便りを毎月発行している。スタッフからアイデアを出してもらい工夫している。
	③⑤	個人情報に十分注意しているか	12	1		
	③⑥	障害のある子どもや保護者との意思疎通や情報伝達のための配慮をしているか	12	1		
	③⑦	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか		2	11	・コロナ禍のためできていないが、地域との関り方について検討していく。
非常時等の対応	③⑧	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、職員や保護者に周知しているか	7	6		・各マニュアルの改善を図っていく。職員及び保護者様への周知ができていないかチェックしていく。
	③⑨	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか	8	4	1	・今後回数を増やしていく。
	④⑩	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか	2	7	4	・定期的な開催ができるように計画を立てていく。
	④⑪	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか	12	1		
	④⑫	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか	10	3		・対応はされているが、職員の理解度については勉強会等を開催していく。
	④⑬	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有しているか	12		1	